

Agri Note 菜園

【アグリノート】
家庭菜園情報

JA福井県

ツツジが見頃を終え、ジャガイモ・タマネギや夏野菜の栽培管理など、慌ただしい時期になりました。春らしい気温の日もありますが、急に気温が上がる日もあり、体調管理も難しいかと思えます。気温の変化に注意しながら、美味しい野菜が収穫できるように頑張しましょう。

今回は下記の品目の土寄せや栽培管理について紹介します。よく観察して、適期栽培を心がけましょう。

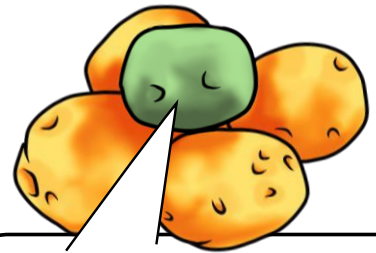
1. ジャガイモ



■土寄せ

草丈15cm程度で1回目、30センチ程度で2回目の土寄せを行います。じゃがいもが土から出ないようにしましょう。

- 葉が黄化、弱っている場合は追肥してから土寄せを行います。



生育時や収穫後のジャガイモは、日に当たるとソラニンという有害物質が発生し、緑色に変色します。緑色のジャガイモは食べられないので、注意してください。

2. エダマメ

■土寄せ

土寄せをすることで、除草・倒伏防止・根量確保の効果があります。

- 1回目: 3~4枚目の本葉が出た時、子葉節まで
- 2回目: 5~6枚目の本葉が出た時、初生葉まで



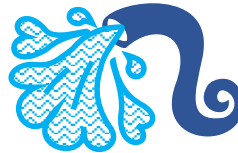
■追肥

追肥は開花後に行いますが、葉色が濃い緑の時は控えて下さい。



■灌水

エダマメは開花から実の肥大期に水分を必要とします。



- 土壌が湿る程度に灌水しましょう。乾燥していると、花落ち・実が太らない原因になります。

3. ブロッコリー

■病害虫対策

早期発見が害虫対策のカギです。害虫は成長するにつれて薬剤も効きづらくなります。アオムシやコナガは葉の裏側にいることが多いです。小さいうちに捕殺、多発している場合は薬剤で防除しましょう。

使用可能な主な薬剤

薬剤名	希釈倍率	対象害虫
アフーム乳剤	1000~2000倍	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ
アディオン乳剤	2000倍	アブラムシ、コナガ、ネキリムシ
ディアナSC	2500~5000倍	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ



ブロッコリーは軟腐病や花蕾腐敗病にかかります。雨が降った後に畝間の水を抜いたり、薬剤で防除することで予防できます。